

Condition Based Maintenance 手法承認取得の取り組み ～機関プラント状態の監視手法～

2022年11月24日

株式会社MTI 船舶物流技術グループ
寺 剛史

本研究は、

- 一般財団法人 日本海事協会
- 株式会社
ジャパンエンジンコーポレーション
- 日本郵船株式会社
- 株式会社 MTI



ClassNK

 **J-ENG**
Japan Engine Corporation

 **日本郵船**

 株式会社 **MTI**
Monohakobi Technology Institute

共同研究です。

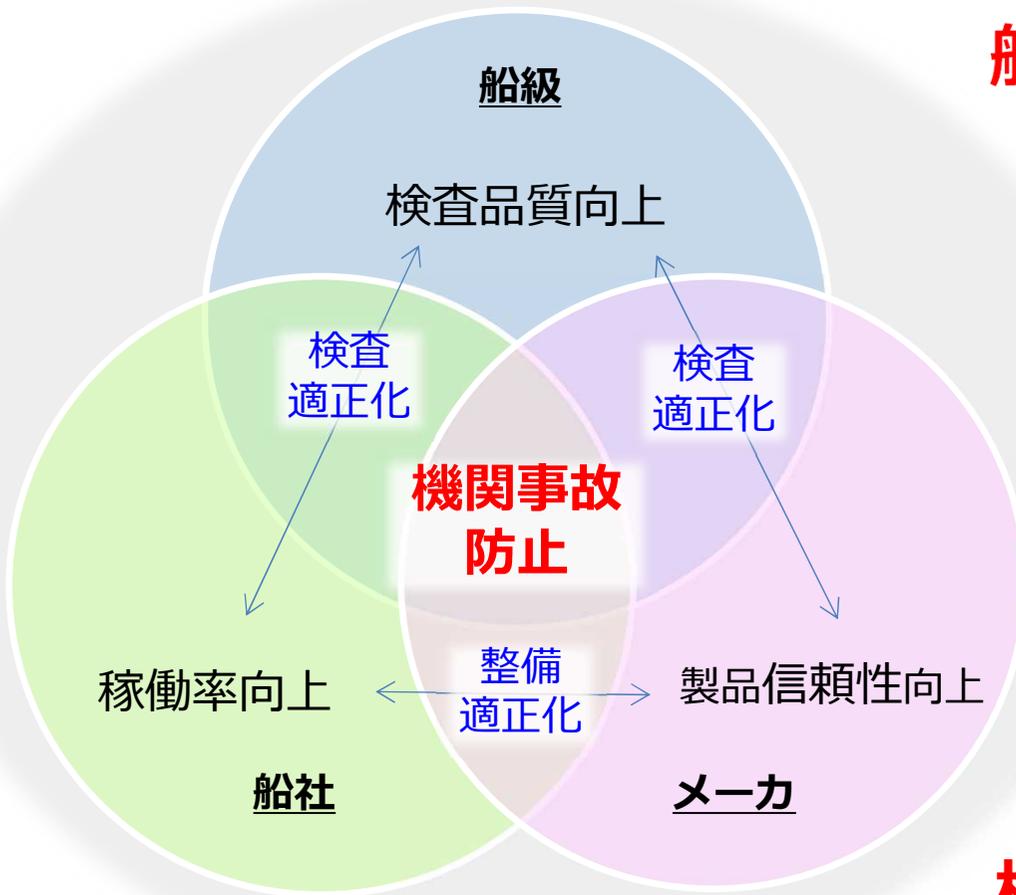
目次

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

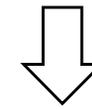
目次

- 1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法**
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

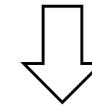
1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法



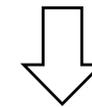
舶用機器の求める共通の要求



『機関事故防止』



現状のTBMでは
状態に関係なく
時期が来たら開放整備

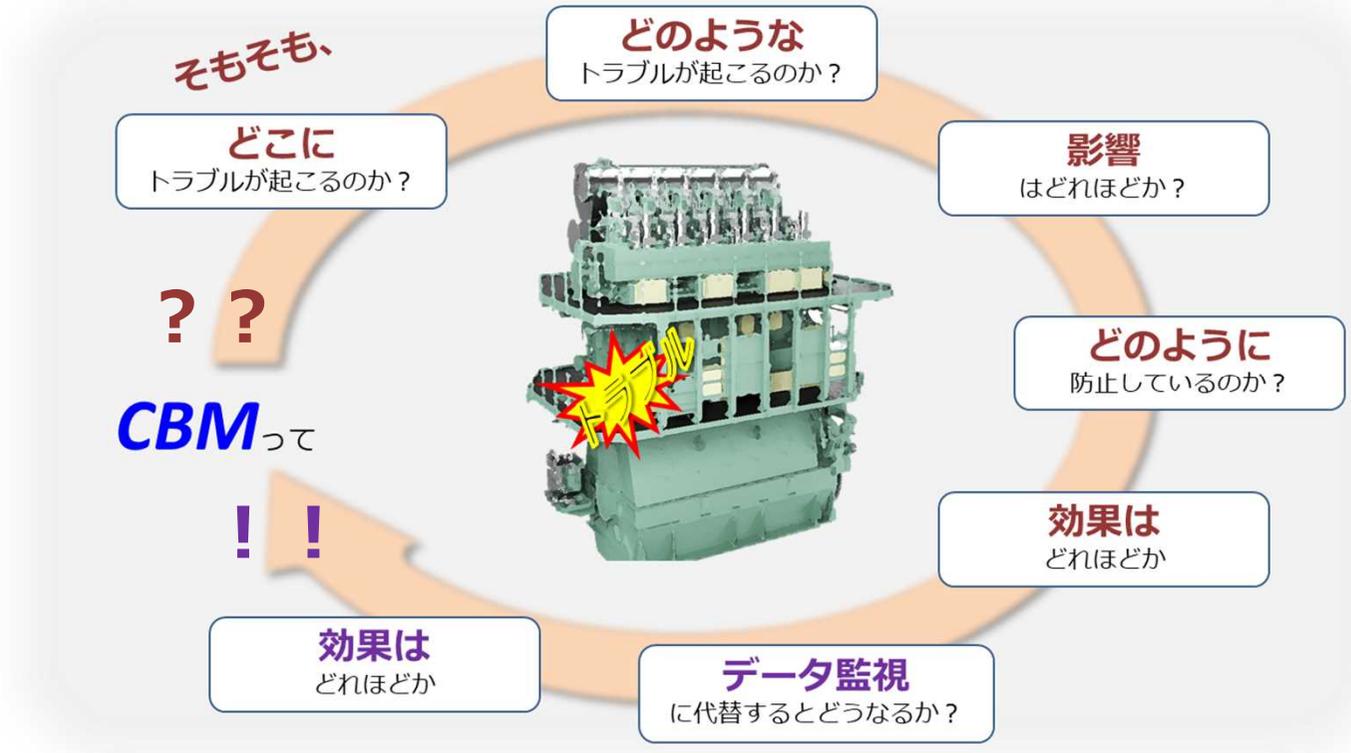


検査基準・整備基準の最適化

検査基準・整備基準の最適化
機関事故防止手法の確度を向上

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法

従来のTBMと比べてリスクが増加しない手法で、CBMが実施されていること。



舶用機関プラントの故障が、

どの部位で**どのように**発生しており、それが**どのような影響**を及ぼし、現状は**どのように防止**しているのか把握し、その**効果を評価**する。

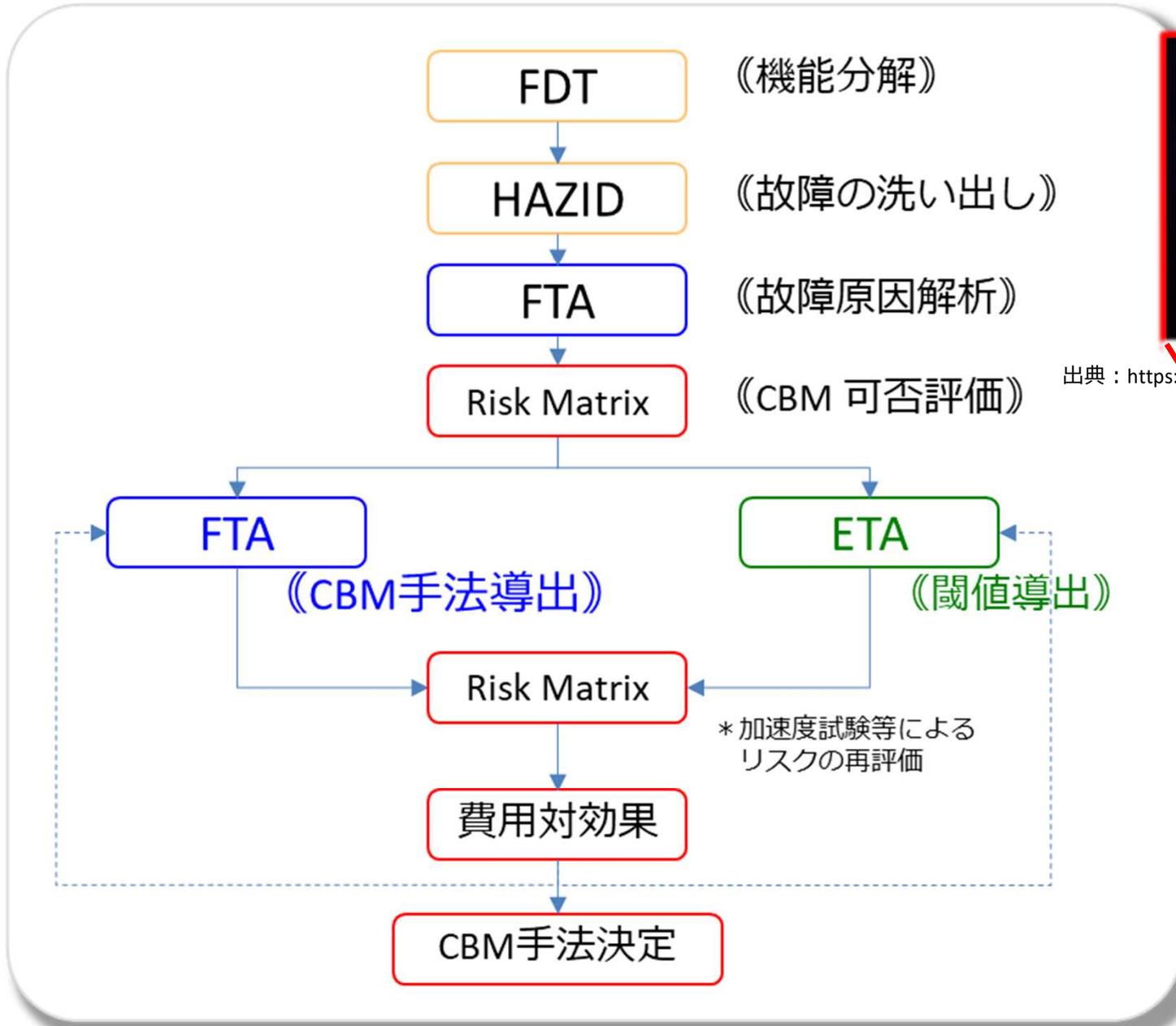
それを**データ監視に代替**させる手法を検討し、その**効果を確認**する。

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法

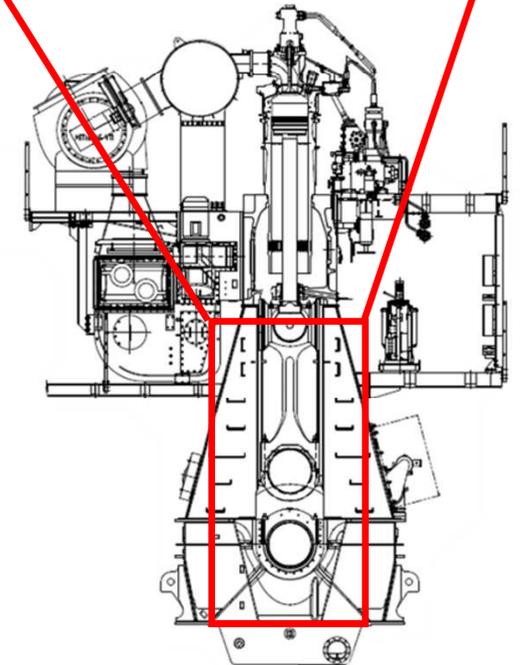
Key Word	手 法	
どこに	FDT	機器を機能毎に分解し故障モードを定義
どのような	HAZID	ガイドワードによる故障モードの洗い出し
その影響は	FTA	故障原因解析
防止方法は	TBM	現行手法の列挙
その効果は	リスク・マトリックス	現行手法の評価
データ代替するには	FTA・ETA	データ監視方法の検討 (センサー追設・データ解析)
その効果は	加速度試験	データ監視方法と故障の紐づけ

FDT : Functional Decomposition Tree / 機能分解木

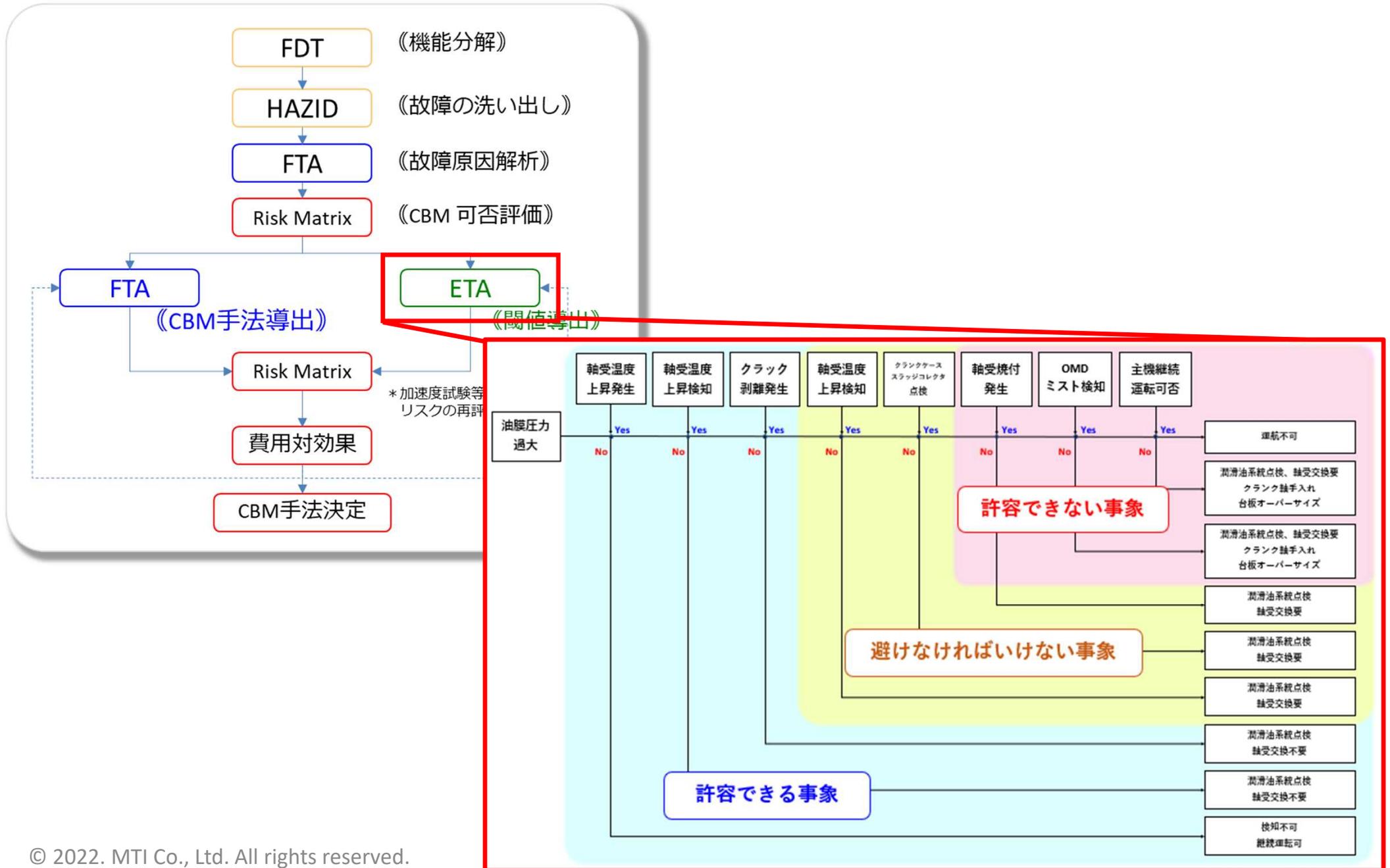
1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法



出典：<https://share.j-treasure.com/daidoumetaru-funeenjibearing/>



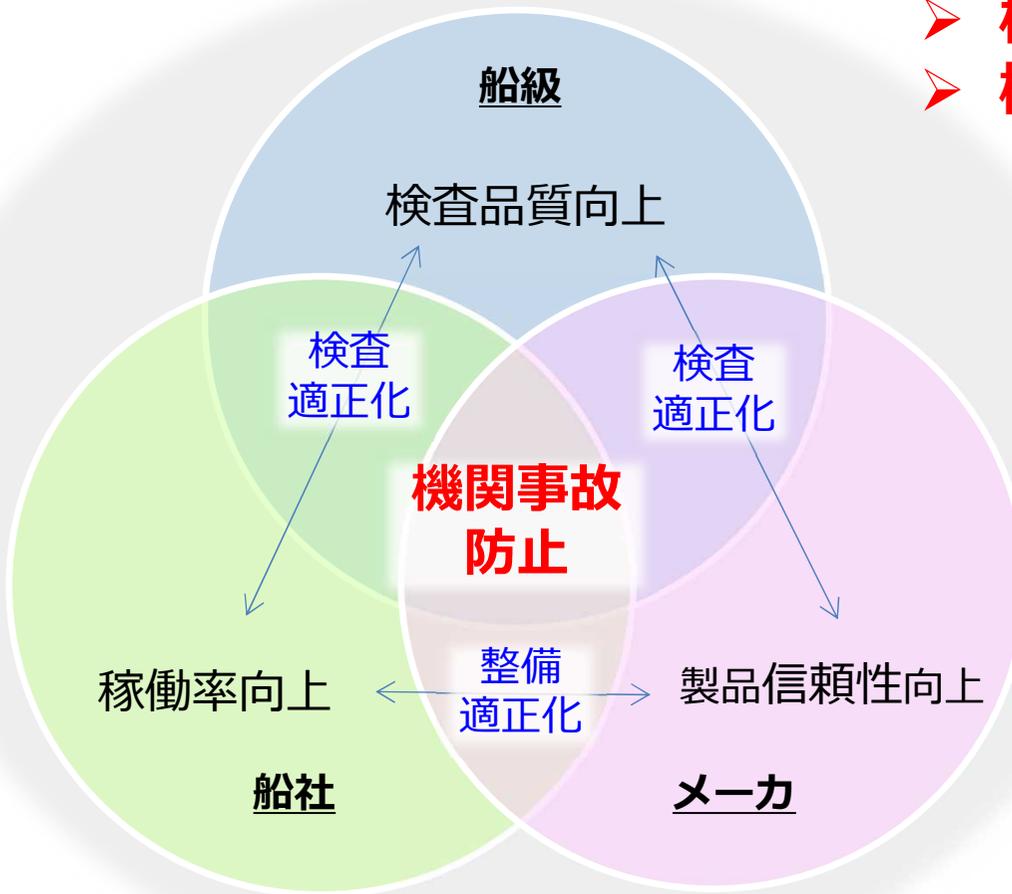
1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法



1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法

- 検査基準・整備基準の最適化
- 機関事故防止手法の確度を向上

開発した手法を実船に適用し
実運航の中で、さらに効果を確認



May 2021

ClassNK
CBMガイドライン (第2.0版)
[日本語 / Japanese]



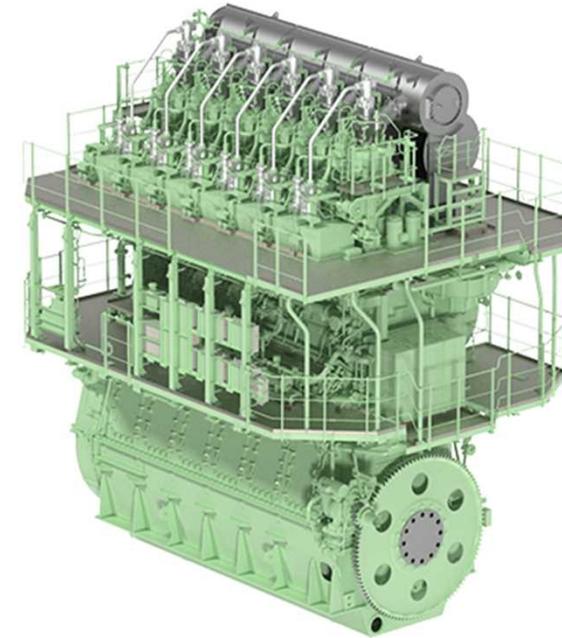
ClassNK

CBMガイドライン第2版
軸受CBM手法が紹介された。

目次

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

2.1. 対象船 ～能代丸～



出典：<https://www.j-eng.co.jp/product/product-lineup/UEC60LSE-Eco-A2.html>

本船概要

- | | |
|----------|-------------|
| ① 全長 | : 235メートル |
| ② 全幅 | : 43.00メートル |
| ③ 夏季満載喫水 | : 13.00メートル |
| ④ 総トン数 | : 51,100トン |
| ⑤ 載貨重量 | : 90,150トン |
| ⑥ 船種 | : 石炭専用船 |

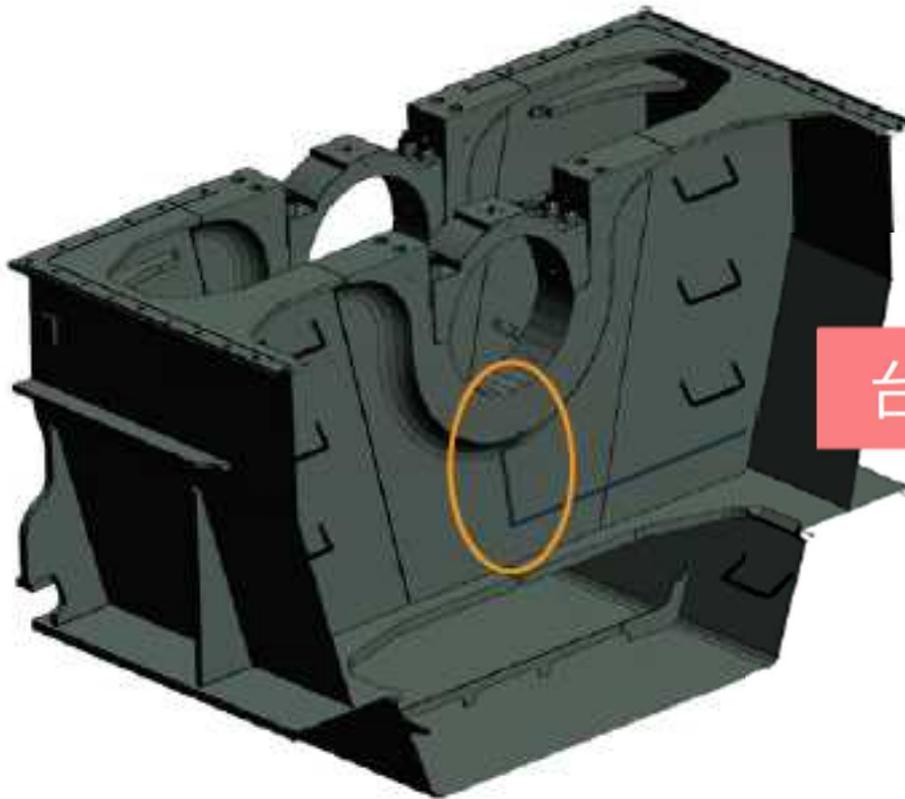
主機概要

シリンダ数	Z	7
シリンダ直径	D	600 mm
ピストン行程	S	2,400 mm
定格回転数	N	86.0 min ⁻¹
定格出力	Le	10,890 kW
正味平均有効圧	Pme	1.599 MPa
シリンダ最高筒内圧	Pmax	16.80 MPa

2.2. 本船での工事 ～センサ取付～

潤滑油出口温度を計測

計測した温度をデータとして取得・保存



台板サドル

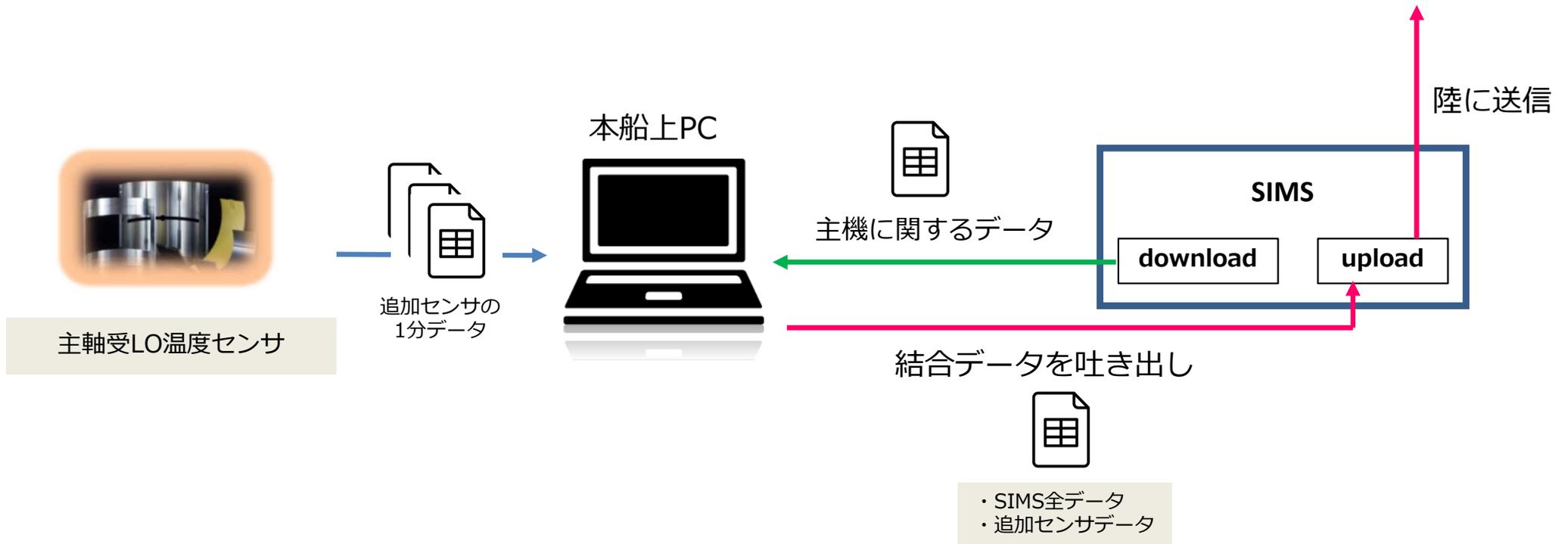


センサ

台板サドルに温度センサを取付け
主軸受潤滑油出口温度を計測、監視

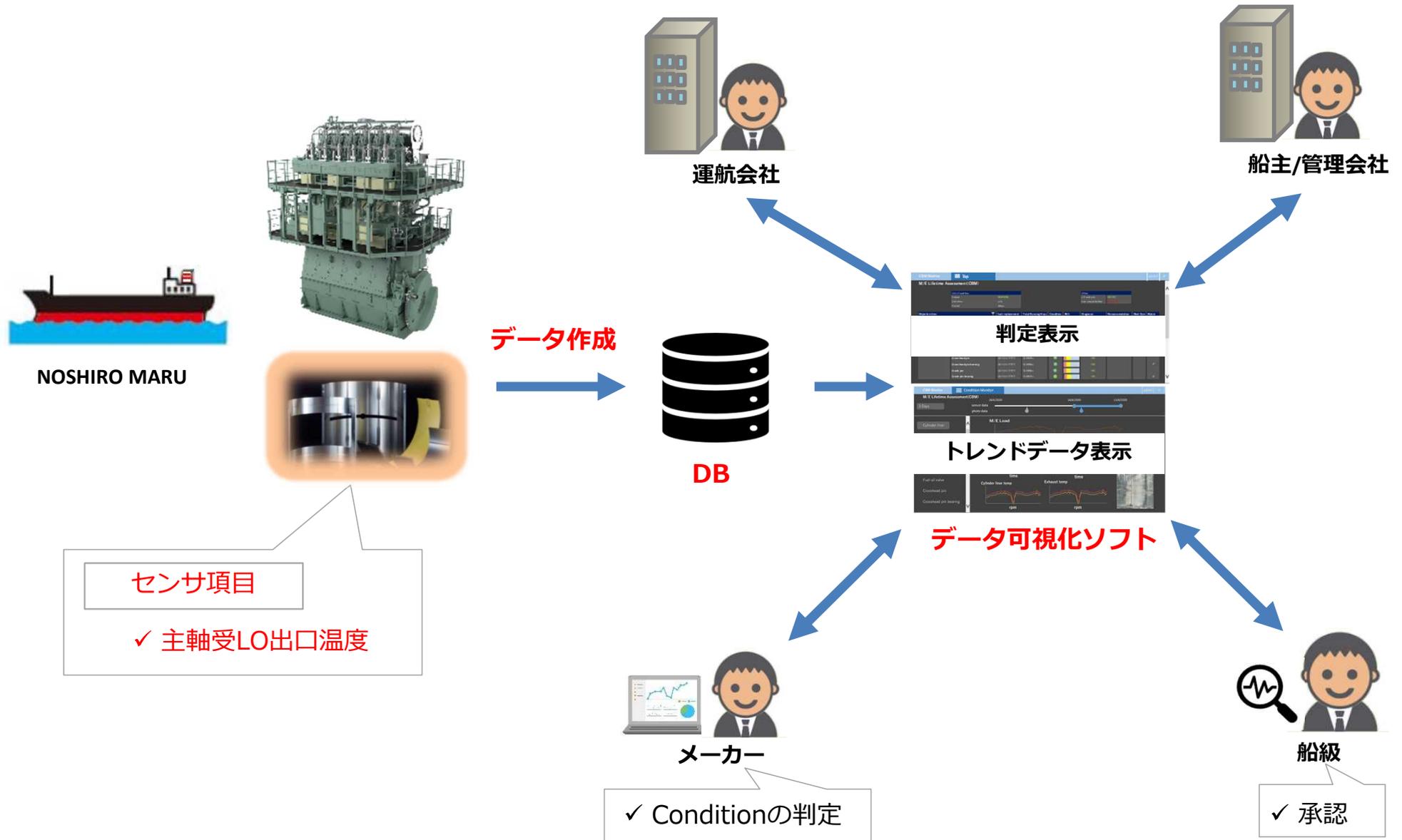
出典:JEng 主機の状態監視と今後の展望について(2020年)

2.2. 本船での工事 ～船内インフラ～



- ✓ 温度センサデータと主機データを結合し、陸にリアルタイムデータを送信
- ✓ リアルタイムでデータ保存されているデータを用いて可視化

2.2. 本船での工事 ~インフラ~



2.3. 取得データの見える化 ～データ監視アプリ(CBM Viewer)～

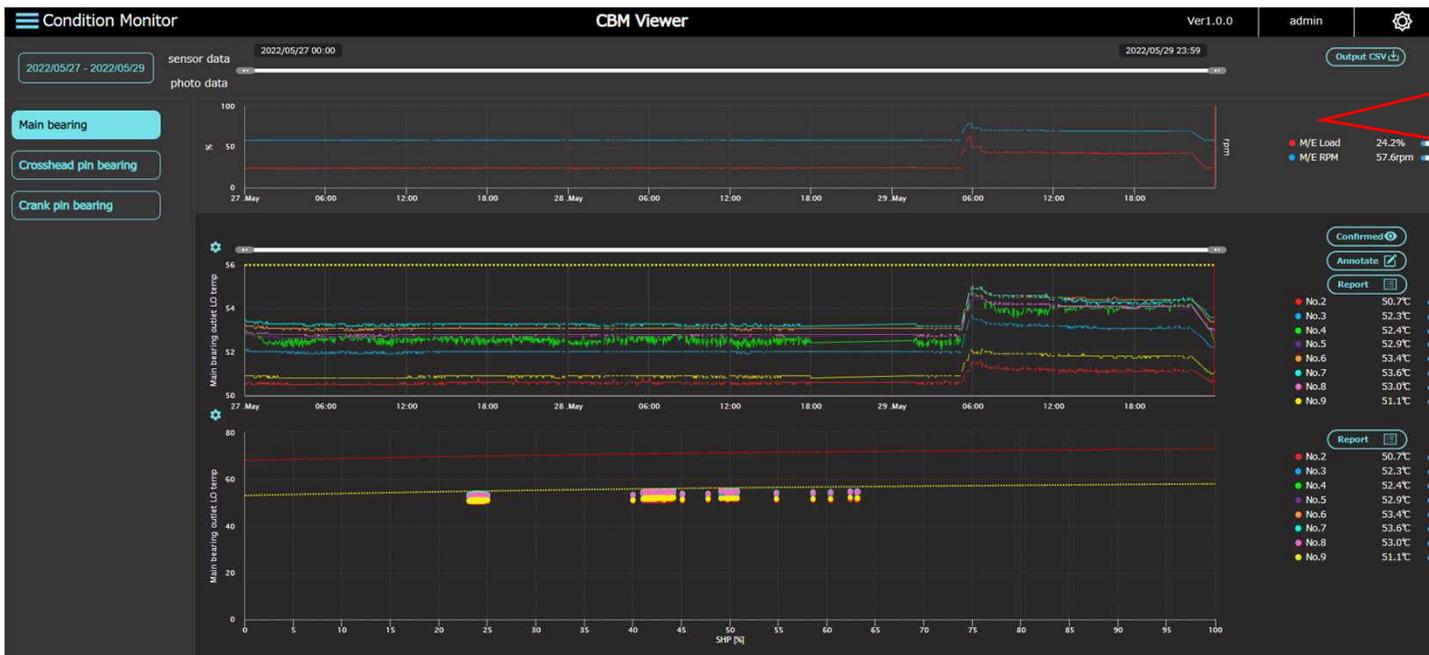
HOME CBM Viewer Ver1.0.0 admin Last Update:2022/05/30 13:16:12

M/E Lifetime Assessment(CBM)

Objective Item	Last Survey Date	Condition	Event Date	Follow-up Action Date	Completion Date	Maker (date)	
Main bearing	No.1 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.2 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.3 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.4 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.5 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/22	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.6 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/22	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.7 fore main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd
	No.7 aft main bearing	2021/07/28	●	2022/05/20	2022/05/23	2022/05/23	yyyy/mm/dd

ダッシュボード

- ・ 監視対象の状態
- ・ 日付情報 など



グラフ表示画面

- ・ 潤滑油出口温度
- ・ 時系列情報 など

2.3. 取得データの見える化 ～データ監視アプリ(CBM Viewer)～

HOME		CBM Viewer			Ver1.0.0		
M/E Lifetime Assessment(CBM)							
Data Quality Condition	Other			Next Survey Due			
-	LO analysis Iron concentration	-	-	2022/09/27 (±3 month)			
Objective Item		Last Survey Date	Condition	Event Date	Follow-up Action Date	Completion Date	
^ Main bearing	No.1 fore main bearing	2022/09/11	●				
	No.2 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/16	2022/09/20		2022/09/20
	No.3 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/22	2022/09/26		2022/09/26
	No.4 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/17	2022/09/20		2022/09/20
	No.5 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/24			
	No.6 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/24			
	No.7 fore main bearing	2022/09/11	!	2022/09/24			
	No.7 aft main bearing	2022/09/11	●				

ダッシュボード (HOME画面)

- ✓ 監視機器の状態一覧
- ✓ 点検時期、メンテナンス時期などの時系列表示

2.3. 取得データの見える化 ～データ監視アプリ(CBM Viewer)～



グラフ表示画面 (Condition Monitor画面)

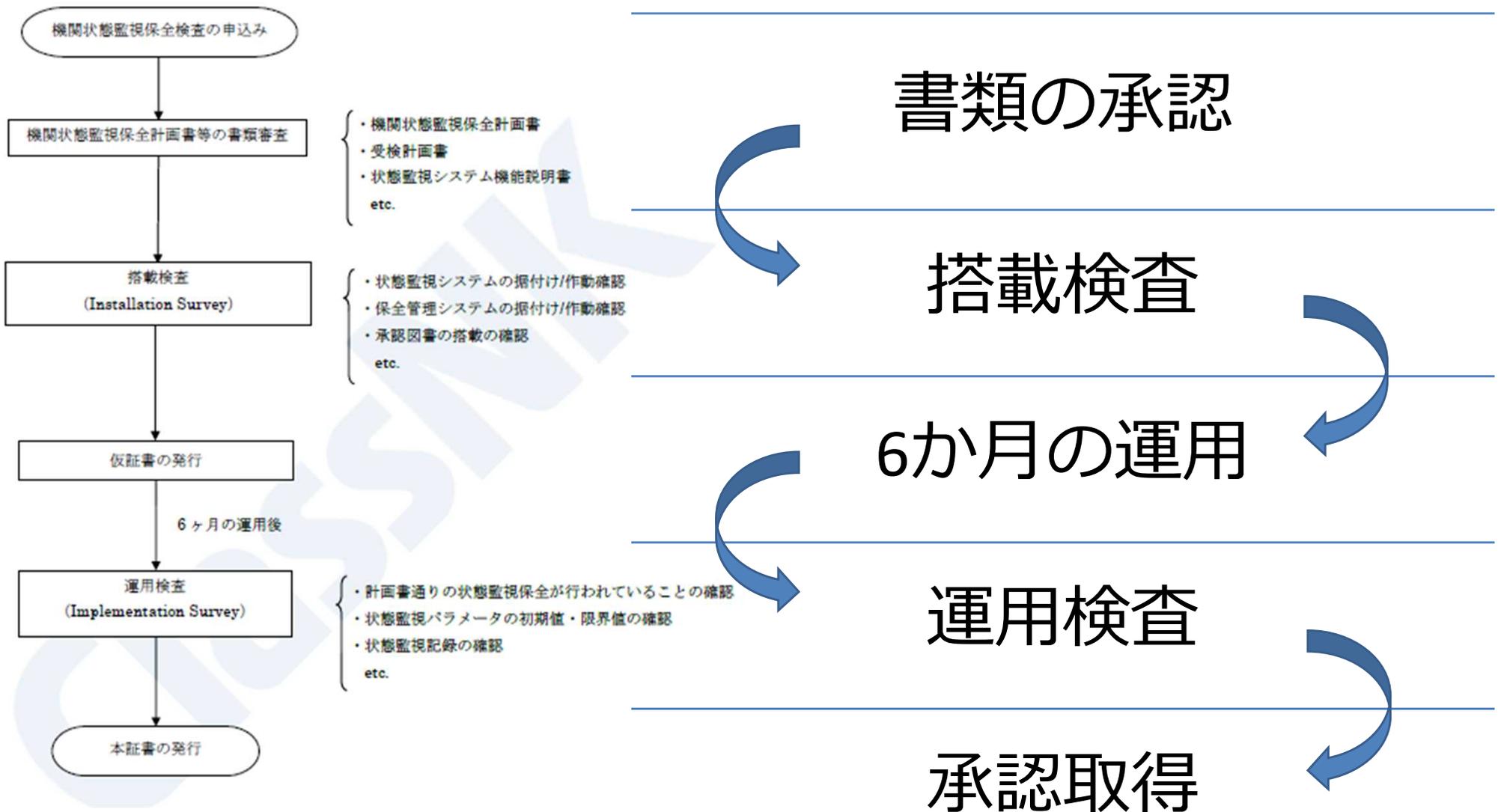
- ✓ 主機関に関する時系列データ
- ✓ 潤滑油出口温度の時系列データ など

目次

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

3. 船級承認取得

✓ 承認フロー

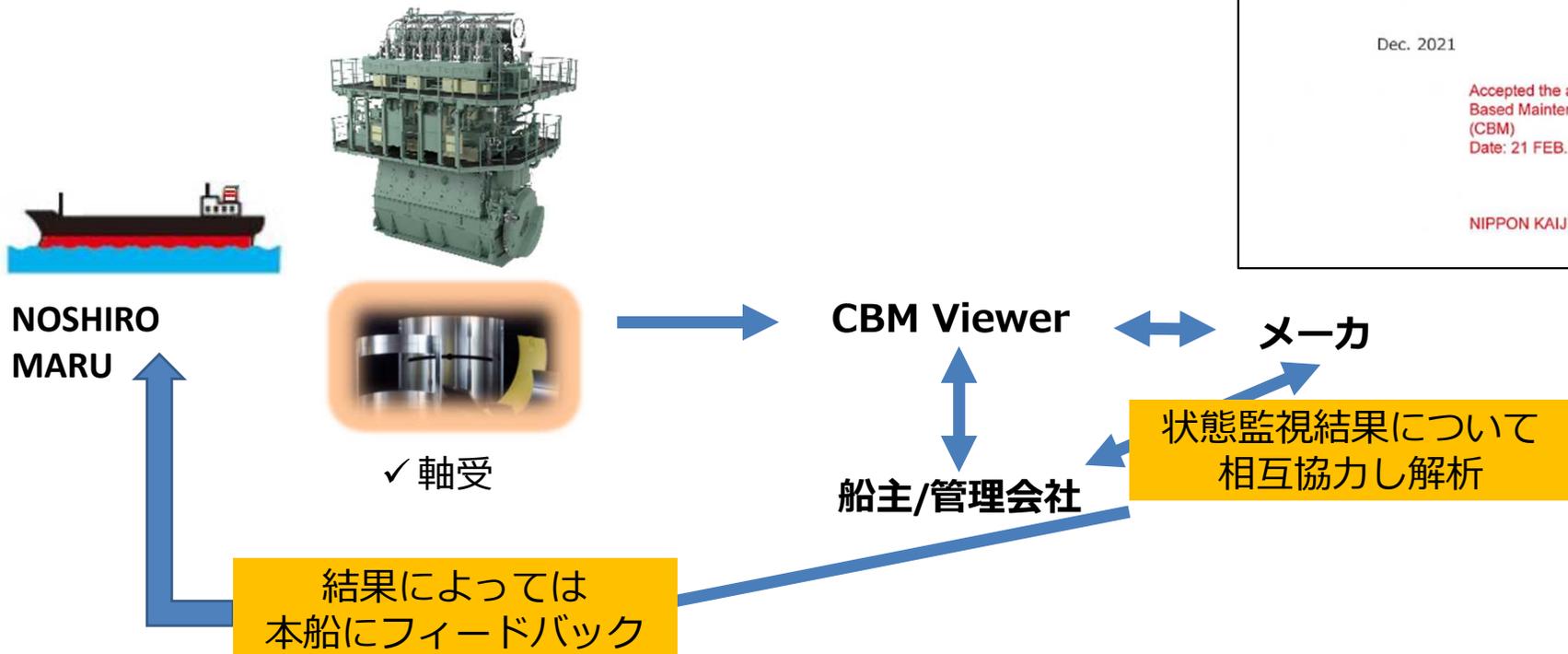
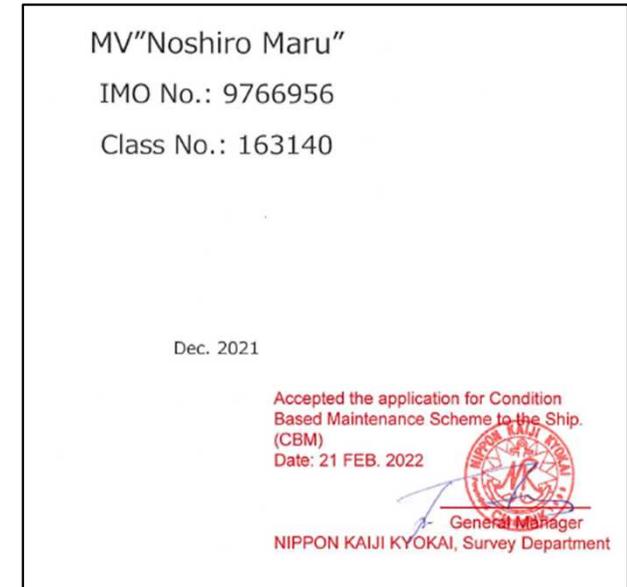


出典：Class NK CBMガイドライン第2版

3. 船級承認取得 ~書類~

鋼船規則及びCBMガイドラインで要求される内容を含む全17項目の書類

- ✓ CBM手法の説明
- ✓ 閾値や異常の説明
- ✓ 各ステークホルダの役割と責任 など



3. 船級承認取得 ～検査～

鋼船規則及びCBMガイドラインで要求される検査



- ✓ 搭載検査
本年3月に受検
各システムの据付・作動確認
承認書類の搭載確認 など
- ✓ 仮証書発行後のトライアル
6か月の試験運用
- ✓ 運用検査
本年9月に受検
CBM手法の適切な運用の確認
閾値等の確認 など

目次

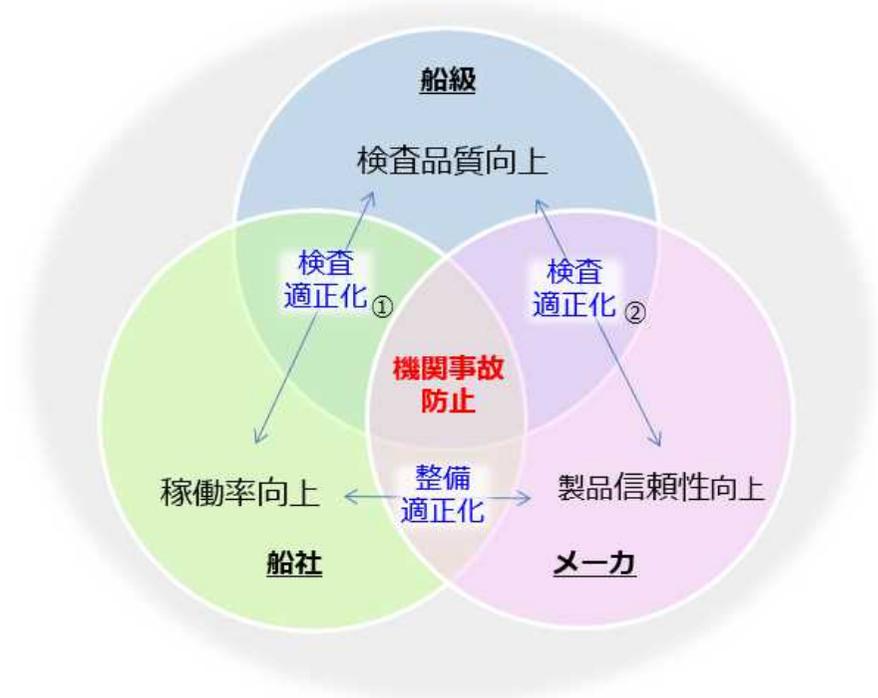
1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

4. まとめ



- ✓ NKガイドラインに採用された手法によるCBM機器を選定
- ✓ 規則類に則った書類を作成
- ✓ 規則類に則った検査を受検
- ✓ CBMの承認を取得

- **検査基準・整備基準の明確化**
- **機関事故防止手法の確度を向上**

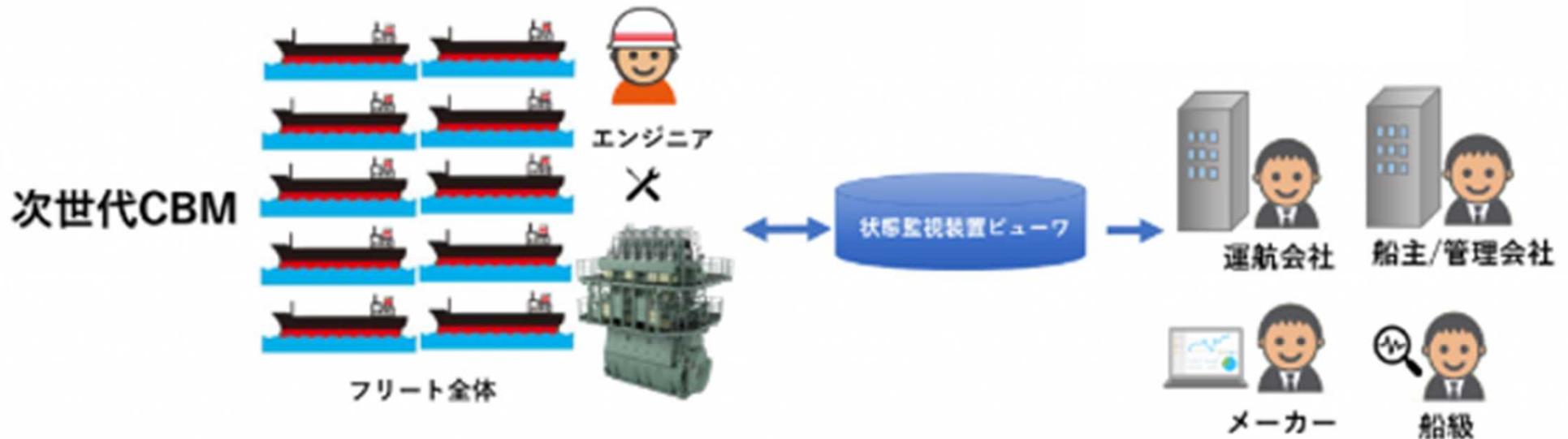


目次

1. 本研究におけるCondition Based Maintenance 手法
2. 対象船での作業概要
 - 2.1. 対象船 ~能代丸~
 - 2.2. 本船での工事
 - 2.3. 取得データの見える化
3. 船級承認取得
4. まとめ
5. 今後の展望

5. 今後の展望

対象船の拡大

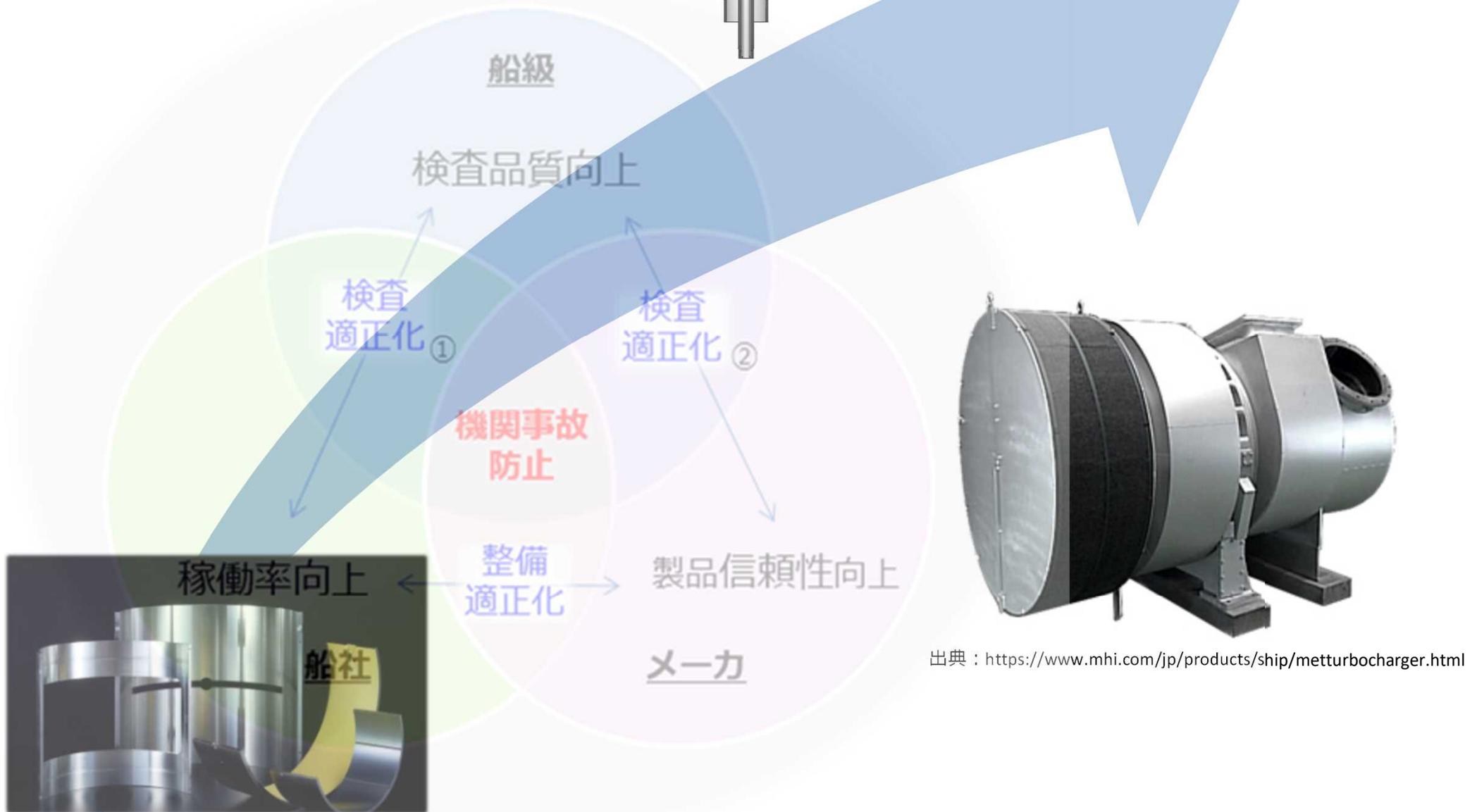


状態監視データをタイムリー且つ正確に陸上の船社・メーカー・船級と共有することで
これまでよりも高度な機関監視を達成

- ✓ 本船(能代丸)での知見を活かし、
日本郵船グループの所有船への展開を目指す。

5. 今後の展望

対象機器の拡大



出典：<https://www.mhi.com/jp/products/ship/metturbocharger.html>

ご清聴どうもありがとうございました。